

2013年10月21日 全7頁

## Indicators Update

# 9月貿易統計

7-9月期 GDP の外需寄与度はマイナスの公算大

経済調査部  
エコノミスト 橋本政彦

### [要約]

- 2013年9月の貿易統計は、輸出金額が前年比+11.5%と7ヶ月連続の増加となったものの、市場コンセンサス(同+15.5%)を下回った。輸出金額を価格と数量に分けて見ると、輸出価格は前年比+13.6%と、大幅な上昇が続いており、円安を主因とした価格上昇が輸出金額を押し上げる構図が続いている。一方で、輸出数量は前年比▲1.9%と3ヶ月ぶりに前年を下回った。輸出金額を季節調整値で見ると、前月比▲0.3%と2ヶ月ぶりの減少となった。3ヶ月移動平均値では10ヶ月連続の増加となっており、増加傾向が続いているものの、輸出数量の伸び悩みを背景に、足下で減速しつつある。
- 輸出数量指数を季節調整値で見ると(季節調整は大和総研による)、前月比▲1.2%と、2ヶ月ぶりの低下となった。地域別に見ると、EU向けが増加したものの、米国向けおよびアジア向けの減少が全体を押し下げた。欧州の景気底打ちを受けて、EU向けの輸出数量についてはこのところ持ち直しつつある。一方で、米国向け、アジア向けの輸出数量が伸び悩んでおり、輸出数量全体としては概ね横ばい圏での推移となっている。
- 当月の貿易統計を受けてGDPベースの輸出入を暫定的に推計したところ、2013年7-9月期の外需(純輸出)の実質GDP成長率(前期比)に対する寄与度は▲0.5%pt程度となる見込みである。輸入が前期から増加する一方で、輸出についてはほぼ横ばいになるとみられ、外需寄与度は3四半期ぶりのマイナスとなる見込み。

### 貿易統計の概況(原系列、前年比、%)

	2013年								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
輸出金額	6.3	▲2.9	1.1	3.8	10.1	7.4	12.2	14.6	11.5
コンセンサス									15.5
DIR予想									15.3
輸入金額	7.1	12.0	5.6	9.5	10.1	11.8	19.7	16.0	16.5
輸出数量	▲1.5	▲12.8	▲7.1	▲3.0	▲1.2	▲5.0	1.8	1.9	▲1.9
価格	7.9	11.4	8.9	7.0	11.5	13.1	10.2	12.5	13.6
輸入数量	▲0.7	0.3	▲4.5	2.5	▲2.2	▲5.0	2.4	▲1.9	▲2.2
価格	7.9	11.6	10.6	6.9	12.5	17.6	16.9	18.2	19.1
貿易収支	▲16,335	▲7,813	▲3,669	▲8,848	▲9,981	▲1,817	▲10,295	▲9,628	▲9,321

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

## 輸出数量が伸び悩み

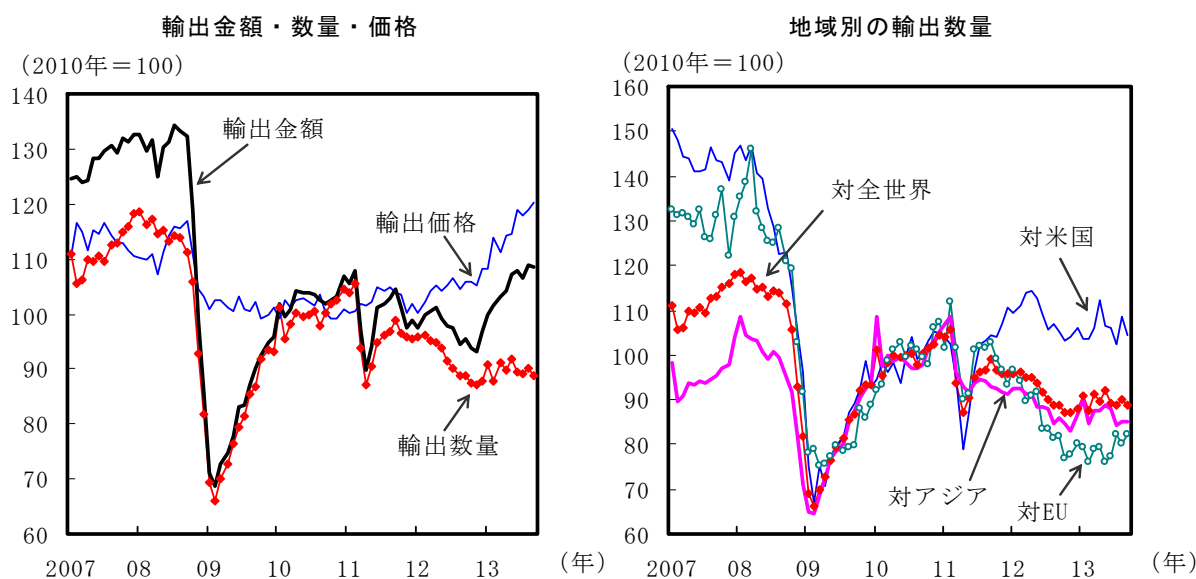
2013年9月の貿易統計は、輸出金額が前年比+11.5%と7ヶ月連続の増加となったものの、市場コンセンサス(同+15.5%)を下回った。輸出金額を価格と数量に分けて見ると、輸出価格は前年比+13.6%と、大幅な上昇が続いており、円安を主因とした価格上昇が輸出金額を押し上げる構図が続いている。一方で、輸出数量は前年比▲1.9%と3ヶ月ぶりに前年を下回った。輸出金額を季節調整値で見ると、前月比▲0.3%と2ヶ月ぶりの減少となった。3ヶ月移動平均値では10ヶ月連続の増加となっており、増加傾向が続いているものの、輸出数量の伸び悩みを背景に、足下で減速しつつある。

輸出数量指数を季節調整値で見ると(季節調整は大和総研による)、前月比▲1.2%と、2ヶ月ぶりの低下となった。地域別に見ると、EU向けが増加したものの、米国向けおよびアジア向けの減少が全体を押し下げた。欧州の景気底打ちを受けて、EU向けの輸出数量についてはこのところ持ち直しつつある。一方で、米国向け、アジア向けの輸出数量が伸び悩んでおり、輸出数量全体としては概ね横ばい圏での推移となっている。

9月の輸入金額は、前年比+16.5%と11ヶ月連続で前年を上回った。輸入数量は前年比▲2.2%と2ヶ月連続の前年割れとなったが、輸入価格が同+19.1%と大きく上昇しており、円安を主因とする価格上昇が引き続き輸入金額を押し上げている。この結果、貿易収支は▲9,321億円と、15ヶ月連続の赤字となった。

なお、当月の貿易統計を受けてGDPベースの輸出入を暫定的に推計したところ、2013年7-9月期の外需(純輸出)の実質GDP成長率(前期比)に対する寄与度は▲0.5%pt程度となる見込みである。輸入が前期から増加する一方で、輸出についてはほぼ横ばいになるとみられ、外需寄与度は3四半期ぶりのマイナスとなる見込み。

### 輸出金額・価格・数量と地域別輸出数量の推移(季節調整値)



## 商品別輸出金額の動向：輸送用機器が堅調

輸出金額（前年比）を主要商品別にみると、円安による価格上昇の効果もあり、大分類では全ての項目が前年から増加となった。なかでも、9月に関しては輸送用機器、化学製品、一般機械の寄与が大きかった。

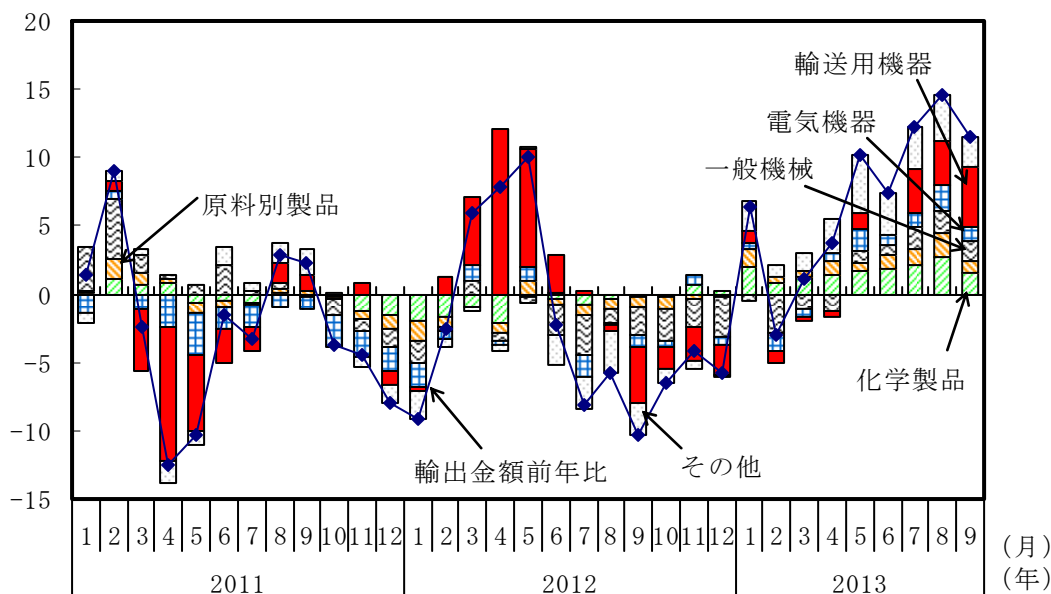
輸送用機器は前年比+19.1%と5ヶ月連続の増加となり、増加率は前月を上回った。最大の輸出先である米国向け（同+39.1%）の高い伸びが続いていることに加えて、EU向けが同+31.2%と3ヶ月連続で増加したことが主な押し上げ要因。一方、アジア向けに関しては、前年比+8.6%と増加したものの、増加幅が前月から縮小した。前年の不買運動による落ち込みの裏が出る形で、中国向けは同+29.8%と大幅に増加したが、ASEAN向けが同▲11.8%と2ヶ月ぶりの減少に転じたことが足を引っ張った。

化学製品は前年比+15.9%と11ヶ月連続の増加となった。地域別に見ても、米国（同+17.1%）、EU（同+6.1%）、アジア向け（同+14.4%）の全てが増加しており、総じて堅調な推移が続いている。品目別では、「有機化合物」（同+39.6%）が、アジアNIEs、中国向けを中心に大幅な増加となったことが全体を大きく押し上げた。

一般機械は前年比+7.7%と5ヶ月連続の増加となった。中国向けが、「電算機類の部分品」、「ポンプ・遠心分離機」の増加を背景に、4ヶ月連続の増加となったことが大きく寄与した。また、アジアNIEs向けが、「原動機」の増加を主因に5ヶ月連続の増加となっている。米国向けは9ヶ月連続の増加、EU向けについても4ヶ月連続の増加と、総じて堅調な推移となる中、ASEAN向けに関しては、「金属加工機械」の減少を主因に9ヶ月連続の減少となっており、弱い動きが続いている。

### 輸出金額の商品別内訳

（前年比、%、%pt）



（注）その他は「食料品」、「鉱物性燃料」、「原料品」、「その他」の合計。

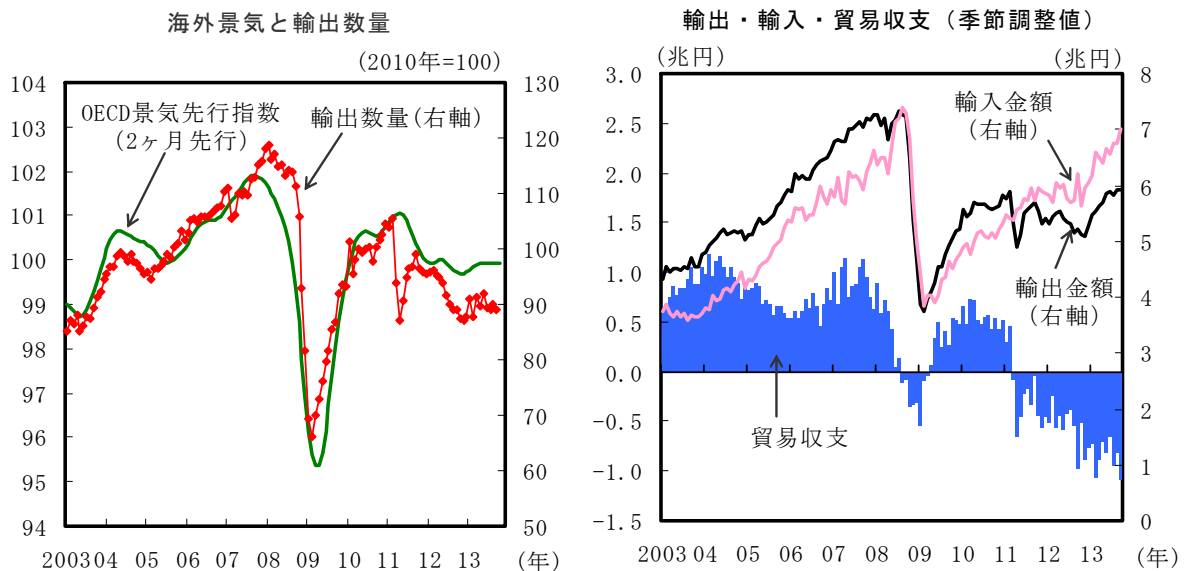
（出所）財務省統計より大和総研作成

## 米国向けを中心に輸出数量は増加基調に復する公算

先行きに関して、輸出数量は増加基調に復すると見ている。このところ伸び悩んでいる米国向けは、米国経済の回復に支えられて増加に向かう公算が大きく、全体を牽引する見通しである。また、EU向けについても持ち直し傾向が続くと見込んでいる。一方、このところ ASEAN 諸国では景気が減速しており、アジア向け輸出が弱含む可能性には留意が必要である。

また、輸入についても、国内需要の増加に伴って、緩やかな増加傾向となると見込んでいる。エネルギーの輸入数量の高止まりが続くとみられることから、貿易収支は赤字傾向での推移が続く見込み。ただし、輸出数量の増加に伴い、赤字幅は徐々に縮小していく公算である。

### 海外景気と輸出数量、貿易収支



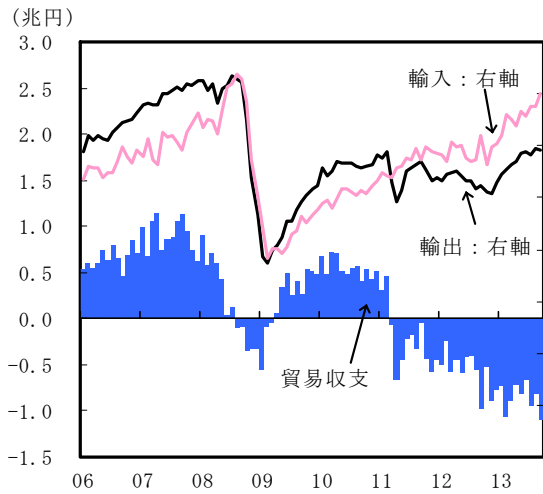
(注1) OECD景気先行指数(CLI)はOECD諸国とBRICsなど非加盟6ヶ国を集計したベース。

(注2) 輸出数量の季節調整は大和総研。

(出所) 財務省、OECD統計より大和総研作成

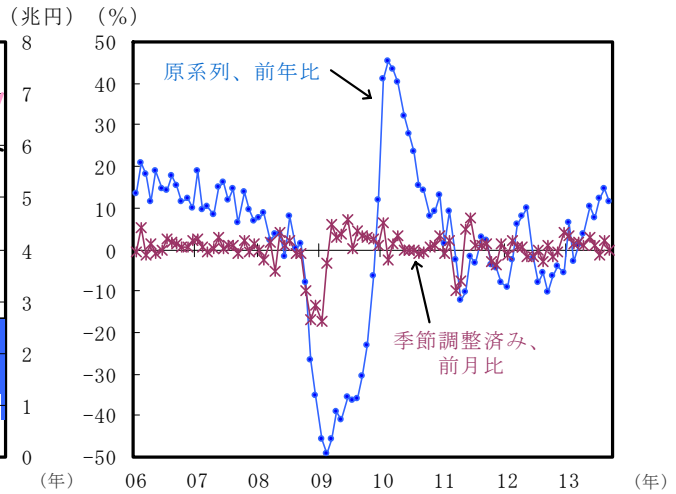
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

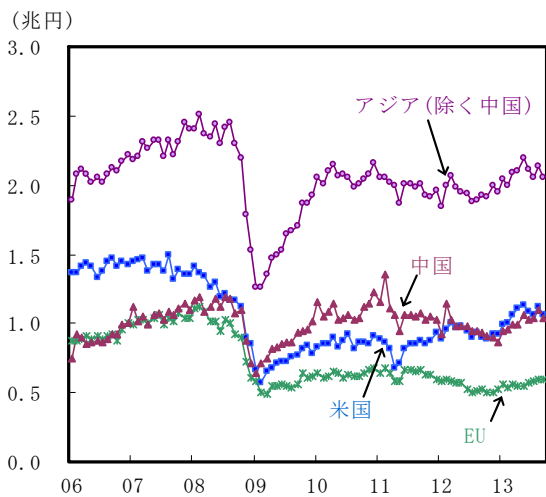


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

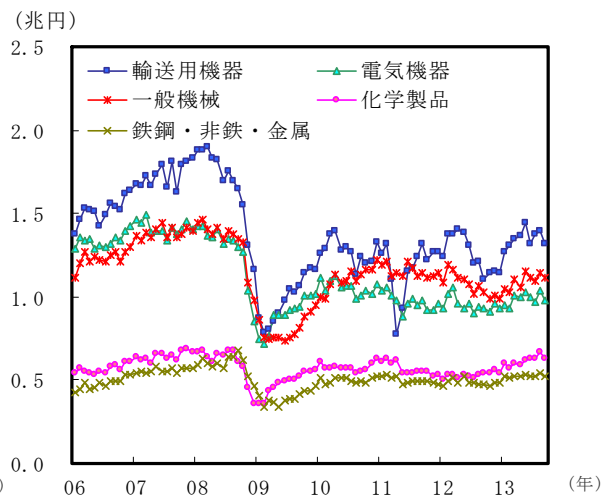


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

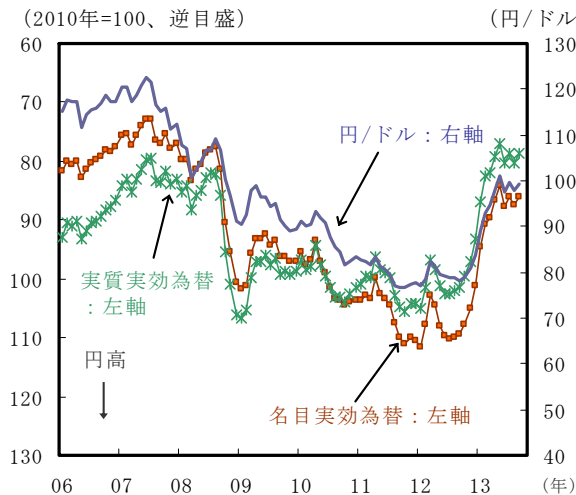


(注) 季節調整は大和総研。  
(出所) 財務省統計より大和総研作成

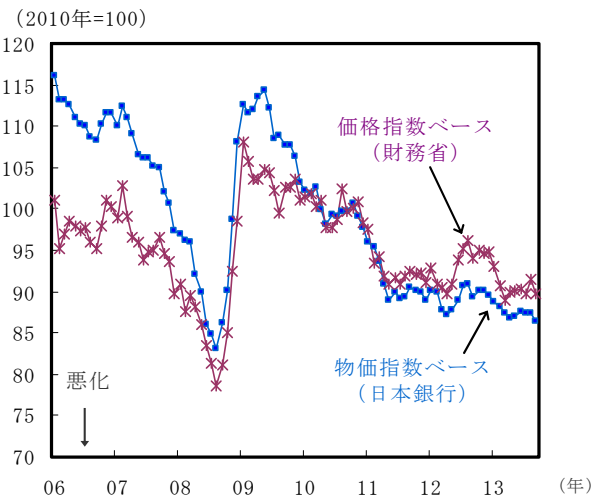
主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）



為替相場



交易条件



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。  
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

輸出金額 内訳								
	2013/04	2013/05	2013/06	2013/07	2013/08	2013/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	3.8	10.1	7.4	12.2	14.6	11.5	100.0	11.5
食料品	13.7	34.7	16.7	28.5	35.3	20.6	0.6	0.1
原料品	24.4	10.1	13.3	16.0	17.2	13.3	1.5	0.2
鉱物性燃料	58.5	65.8	40.9	35.6	42.3	72.8	3.0	1.4
化学製品	13.5	16.8	20.5	22.2	25.8	15.9	10.2	1.6
原料別製品	7.8	4.2	7.6	9.0	13.5	7.2	12.5	0.9
鉄鋼	15.8	▲1.9	9.7	6.2	12.1	7.7	5.1	0.4
非鉄金属	0.1	10.8	9.7	14.4	21.3	16.8	2.0	0.3
金属製品	3.6	9.9	▲0.7	11.4	13.4	5.5	1.6	0.1
一般機械	▲5.8	4.5	3.5	7.4	7.3	7.7	18.5	1.5
電気機器	4.0	9.6	4.0	6.4	10.7	5.3	18.0	1.0
半導体等電子部品	9.7	16.3	11.5	14.7	13.2	1.4	5.2	0.1
IC	17.2	24.1	17.6	22.7	15.8	2.4	3.5	0.1
映像記録・再生機器	▲34.9	▲21.8	▲35.4	▲31.0	▲12.5	▲20.9	1.0	▲0.3
音響・映像機器の部分品	▲6.1	▲11.4	▲9.6	▲6.7	▲11.6	14.3	0.7	0.1
電気回路等の機器	4.3	9.3	5.8	10.9	10.0	1.5	2.4	0.0
輸送用機器	▲2.1	4.9	0.0	13.5	15.2	19.1	24.1	4.3
自動車	6.5	5.5	11.7	14.3	21.0	29.9	16.0	4.1
自動車の部分品	6.8	3.5	0.8	8.7	12.2	6.5	5.0	0.3
その他	10.3	22.9	19.8	17.5	18.3	3.9	11.6	0.5
科学光学機器	▲4.8	15.7	7.2	6.7	10.5	0.1	3.2	0.0

米国向け輸出金額 内訳								
	2013/04	2013/05	2013/06	2013/07	2013/08	2013/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	14.8	16.3	14.6	18.4	20.6	18.8	100.0	18.8
食料品	▲19.0	16.2	2.6	51.3	51.4	39.7	0.7	0.2
原料品	9.6	▲45.7	3.6	72.1	18.8	5.8	0.4	0.0
鉱物性燃料	1353.4	5881.2	19.8	40.6	▲58.0	▲34.7	0.7	▲0.5
化学製品	30.7	17.5	24.9	22.0	29.4	17.1	5.2	0.9
原料別製品	5.1	▲1.7	▲0.7	9.5	16.1	0.9	6.6	0.1
鉄鋼	1.7	▲23.2	▲12.0	2.7	22.4	▲11.0	1.8	▲0.3
非鉄金属	▲15.9	▲17.7	▲15.2	3.3	▲11.9	3.7	0.5	0.0
金属製品	7.0	3.5	▲10.8	18.9	18.4	5.1	1.5	0.1
一般機械	3.9	19.1	6.6	7.0	10.8	3.5	21.2	0.9
電気機器	9.5	19.3	7.3	11.4	9.0	11.8	15.4	1.9
半導体等電子部品	16.5	20.2	9.4	5.4	18.6	14.0	2.1	0.3
IC	23.7	29.3	13.4	22.0	29.6	17.4	1.2	0.2
映像記録・再生機器	▲40.8	▲31.3	▲30.7	▲21.4	▲27.4	▲23.6	1.2	▲0.4
音響・映像機器の部分品	▲22.7	▲9.7	▲5.2	2.4	▲74.0	54.0	0.3	0.1
電気回路等の機器	18.2	37.6	22.5	18.1	21.8	13.0	1.5	0.2
輸送用機器	19.5	13.6	24.5	27.2	32.0	39.1	40.4	13.5
自動車	21.0	13.1	29.0	31.9	35.8	49.6	30.5	12.0
自動車の部分品	5.7	14.4	▲1.7	6.6	19.8	8.6	6.4	0.6
その他	25.0	17.9	17.0	20.7	28.8	19.3	9.3	1.8
科学光学機器	14.1	25.8	6.3	13.1	12.0	5.9	2.2	0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2013/04	2013/05	2013/06	2013/07	2013/08	2013/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	▲3.5	▲4.9	8.6	16.6	18.1	14.3	100.0	14.3
食料品	18.9	11.6	58.8	41.0	56.4	48.9	0.3	0.1
原料品	44.7	▲37.1	22.5	40.4	9.3	2.6	1.1	0.0
鉱物性燃料	▲91.4	203.3	630.7	1412.4	2925.7	2765.1	3.1	3.4
化学製品	4.0	0.4	16.9	7.9	14.1	6.1	8.0	0.5
原料別製品	▲12.7	▲18.6	3.2	16.5	17.6	▲1.6	6.4	▲0.1
鉄鋼	16.9	▲57.9	4.9	39.5	37.7	▲12.1	0.8	▲0.1
非鉄金属	▲54.7	▲17.1	19.5	▲13.3	▲2.2	▲42.0	0.6	▲0.5
金属製品	1.0	▲3.7	▲11.3	26.7	9.9	3.9	1.5	0.1
一般機械	1.4	▲1.3	6.3	24.1	13.4	13.8	24.6	3.4
電気機器	▲8.8	▲3.0	5.3	5.7	18.9	10.6	19.8	2.2
半導体等電子部品	▲0.2	5.0	17.0	13.2	14.3	16.2	2.6	0.4
IC	8.9	2.5	17.7	32.8	33.2	24.2	1.7	0.4
映像記録・再生機器	▲41.9	▲37.3	▲45.7	▲47.1	▲4.5	▲33.3	2.0	▲1.2
音響・映像機器の部分品	▲9.2	▲30.0	20.8	▲29.5	3.2	57.3	1.3	0.5
電気回路等の機器	1.0	11.2	23.8	26.6	17.7	22.1	1.8	0.4
輸送用機器	▲7.1	▲12.6	▲5.2	12.2	23.8	31.2	22.8	6.2
自動車	▲20.8	▲1.2	▲20.1	4.0	32.1	65.1	14.5	6.5
自動車の部分品	15.2	▲4.6	10.1	22.3	13.8	8.3	5.8	0.5
その他	0.9	4.8	34.2	23.6	8.6	▲8.1	13.8	▲1.4
科学光学機器	▲12.2	9.4	10.6	▲6.1	0.1	3.4	3.6	0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2013/04	2013/05	2013/06	2013/07	2013/08	2013/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	4.3	11.0	7.4	9.1	13.5	8.2	100.0	8.2
食料品	17.6	39.6	14.8	23.0	27.9	12.6	0.7	0.1
原料品	23.4	24.2	12.3	10.7	18.7	13.6	2.3	0.3
鉱物性燃料	43.7	37.9	30.9	2.9	36.9	54.0	3.4	1.3
化学製品	13.3	20.6	20.5	25.4	25.4	14.4	14.2	1.9
原料別製品	6.4	6.6	6.1	7.3	10.1	7.9	16.3	1.3
鉄鋼	13.3	4.8	9.0	5.6	7.4	10.6	7.3	0.8
非鉄金属	0.9	13.4	10.9	16.0	21.7	15.5	3.1	0.5
金属製品	1.9	10.0	1.0	6.0	9.8	1.9	1.8	0.0
一般機械	▲12.3	0.2	1.2	3.2	6.2	7.1	18.0	1.3
電気機器	4.8	10.5	2.5	4.7	10.3	1.8	22.0	0.4
半導体等電子部品	9.6	16.7	11.1	15.5	12.7	▲0.6	8.2	▲0.1
IC	17.3	25.1	17.9	22.4	14.2	0.5	5.8	0.0
映像記録・再生機器	▲22.4	▲0.8	▲29.8	▲20.9	▲7.7	▲12.8	0.8	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲9.2	▲14.1	▲15.6	▲18.1	3.0	▲4.6	0.7	▲0.0
電気回路等の機器	4.7	6.4	2.8	8.8	8.6	▲3.3	3.4	▲0.1
輸送用機器	0.3	▲1.9	▲6.7	1.2	12.3	8.6	9.0	0.8
自動車	▲9.1	▲15.4	▲2.7	2.8	6.6	18.1	4.4	0.7
自動車の部分品	8.7	2.9	2.0	4.0	9.2	▲0.3	3.9	▲0.0
その他	9.8	24.7	20.6	17.8	16.4	5.5	14.1	0.8
科学光学機器	▲1.5	21.2	10.0	9.9	17.1	2.3	4.2	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2013/04	2013/05	2013/06	2013/07	2013/08	2013/09		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	0.3	8.3	4.7	9.5	15.8	11.4	100.0	11.4
食料品	39.9	30.9	▲2.9	31.4	34.1	▲14.5	0.2	▲0.0
原料品	13.3	19.4	18.7	9.7	21.8	17.4	3.6	0.6
鉱物性燃料	▲11.4	45.2	38.0	▲24.5	▲1.1	▲15.7	1.3	▲0.3
化学製品	13.6	30.3	33.7	39.5	42.8	21.1	15.0	2.9
原料別製品	5.8	4.5	4.2	6.9	8.2	6.2	13.1	0.9
鉄鋼	11.2	▲4.6	5.6	▲0.3	4.8	14.9	4.8	0.7
非鉄金属	▲0.3	11.8	4.4	12.4	▲3.5	▲7.5	2.7	▲0.2
金属製品	0.9	7.5	1.6	2.9	13.7	▲3.0	1.6	▲0.1
一般機械	▲10.3	▲0.6	0.7	3.4	8.2	16.8	18.8	3.0
電気機器	▲2.7	5.7	▲8.1	4.4	9.9	2.5	23.9	0.6
半導体等電子部品	7.5	9.8	▲5.7	14.0	11.0	▲2.8	7.9	▲0.3
IC	13.7	14.7	▲4.6	18.4	12.6	▲7.1	5.5	▲0.5
映像記録・再生機器	▲42.0	▲25.7	▲38.1	▲34.9	▲14.0	▲22.1	1.2	▲0.4
音響・映像機器の部分品	7.2	▲7.8	▲30.2	▲10.2	17.9	▲6.0	0.9	▲0.1
電気回路等の機器	▲4.7	8.4	▲5.0	14.2	12.2	▲7.0	3.6	▲0.3
輸送用機器	▲3.4	▲14.3	▲1.7	4.9	16.6	29.8	10.7	2.7
自動車	▲13.8	▲27.7	▲3.2	▲1.6	5.4	52.8	5.0	1.9
自動車の部分品	6.6	1.3	▲1.2	11.1	26.3	15.0	5.6	0.8
その他	1.7	21.2	8.0	10.9	18.4	7.0	13.4	1.0
科学光学機器	6.6	33.5	23.2	12.7	31.4	17.1	6.7	1.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成